

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和元年5月31日
発信課 担当者	子育て支援課 青少年係 佐藤 貴弘
連絡先	電話 0166-25-9847
	FAX 0166-22-3275
	E-mail sesyonen@city.asahikawa.lg.jp

分類	<input checked="" type="checkbox"/> イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	6月4日
発表項目 (行事名)	令和元年度旭川市少年の主張大会
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>趣旨：中学生が社会に向けての意見，未来への希望などを発表する機会を設け，青少年の健全育成及び非行防止に対する市民の理解を深める契機となることを目的に，標記行事を開催する。</p> <p>日時：令和元年6月4日（火曜日） 午後1時30分から午後3時30分まで（予定）</p> <p>場所：旭川市ときわ市民ホール（旭川市5条通4丁目） 4階 多目的ホール</p> <p>内容：旭川市内の中学生6名が意見発表を行い，論旨，論調，態度の3項目について審査委員による審査を行い，金賞・銀賞・銅賞を決定する。 なお，本大会は7月17日に行われる上川地区大会の選考会も兼ねており，金賞受賞者1名を推薦する。</p> <p>参加校：旭川市内の中学校5校 [()内は参加生徒数] 北門中学校(1)，中央中学校(1)，旭川中学校(2)，神居東中学校(1)，北海道教育大学附属旭川中学校(1)</p>
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ※ 資料の内容 (1) 令和元年度旭川市少年の主張大会開催要領 (2) 令和元年度旭川市少年の主張大会プログラム
報道（取材）に当たってのお願い	
備考	

令和元年度 旭川市少年の主張大会開催要領

1 大会の趣旨

少子高齢化，国際化，情報化の急速な進展等，社会や国際的な環境が大きく変化する現代社会にあって，次代を担う少年には，心身共に健康で他者を思いやる心を持ち，社会的に自立している，健やかな成長が求められている。

そのためには，広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに，物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けることが大切であることから，少年が社会に向けての意見，未来への希望などを発表する機会を設け，少年の健全育成及び非行防止に対する市民の理解を深める契機となることを目的とする。

2 大会に係る経過等

少年の主張大会は，1979年（昭和54年）の国際児童年を契機に開催し，本年度で第41回目を迎える。旭川市少年の主張大会は，上川地区大会に向けての選考会も兼ねて開催され，上川地区大会，全道大会，北海道・東北大会を経て，全国大会で内閣総理大臣賞ほか，各賞の受賞者が決定される。

3 主 催

旭川市

4 参加対象

旭川市内の中学生

5 実施要領

(1) 開催日時及び会場

令和元年6月4日（火） 13時30分開始（予定）

旭川市ときわ市民ホール（旭川市5条通4丁目）4階 多目的ホール

(2) 発表内容

以下のような内容で，心からの思いや考えたこと，感銘を受けたことなど，少年らしい自由でユニークな感想を，飾り気のない言葉でまとめたもの。

ア 社会や世界に向けての意見，未来への希望や提言など

イ 家庭，学校生活，社会（地域活動）及び友だちとの関わりなど，身の回りで感じたこと

ウ テレビや新聞などで報道されている少年の問題，大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想，提言など

※ 商業的な固有名詞の使用は極力避けることとする。

※ パフォーマンスや小道具の使用を取り入れてもよい。

(3) 発表時間

1人5分程度（400字詰原稿用紙（A4）4枚程度）。

6 審査要領

- (1) 関係機関等において推薦された審査員に依頼する。
- (2) 審査により，発表者の中から金賞1名，銀賞1名，銅賞若干名を決定する。金賞となった者は，上川地区大会出場者として，北海道上川総合振興局長に推薦する。
- (3) 審査基準

以下の3項目について，審査員により審査を行い，各賞を決定する。

ア 論 旨

- ・鋭い感性で，新鮮な主張であるか。(中学生らしさ)
- ・新しい情報や視点があるか。
- ・個人の体験にとどまらず，一般性・社会性があるか。
- ・提案や提言を実現・実践する意欲が感じられるか。
- ・論旨が一貫し，構成がしっかりしているか。

イ 論 調

- ・主張の内容が共感と感銘を与えているか。
- ・説得力ある話し方であるか。
- ・話し振りに熱意と迫力があるか。

ウ 態 度

- ・聴衆をよく見て落ち着いて話しているか。

7 上川地区大会について (予定)

日 時 令和元年7月17日(水)

会 場 上川合同庁舎3階 講堂(旭川市永山6条19丁目)

8 その他

- (1) 応募作品は，未発表のものに限る。
- (2) 応募された作品は，原則返却しないこととし，旭川市に帰属するものとする。
- (3) 大会当日は，必ず引率者(保護者含む)同伴で来場すること。

9 担 当

旭川市7条通10丁目 旭川市第二庁舎5階

旭川市子育て支援部子育て支援課青少年係 佐藤

TEL (0166) 25-9847

令和元年度 旭川市少年の主張大会



日 時 令和元年6月4日（火）午後1時30分から
場 所 旭川市ときわ市民ホール4階 多目的ホール
主 催 旭川市

プログラム

- 1 開 会
- 2 主催者あいさつ
- 3 審査委員紹介
- 4 少年の主張発表

○発表テーマ・発表者

- (1) 当たり前を常識に
旭川市立神居東中学校 3年 岡野 心優 さん
- (2) オウム真理教
旭川市立旭川中学校 3年 柴田 凧海 さん
- (3) 大好きだった祖父のように
旭川市立中央中学校 3年 山田 彩絢 さん
- (4) 過去を変える
北海道教育大学附属旭川中学校 3年 竹村 友杜 さん
- (5) 世界平和の現状
旭川市立旭川中学校 2年 本村 啓州 さん
- (6) いじめについて
旭川市立北門中学校 1年 斎藤 暖華 さん

- 5 入賞者発表・表彰
- 6 講 評
- 7 閉 会

旭川市少年の主張大会について

○大会の趣旨

次代を担う少年には、心身共に健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められている。

そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けることが大切であることから、少年が社会に向けての意見、未来への希望などを発表する機会を設け、少年の健全育成及び非行防止に対する市民の理解を深める契機となることを目的とする。

○大会に係る経過等

少年の主張大会は、1979年（昭和54年）の国際児童年を契機に開催し、本年度で第41回目を迎える。旭川市少年の主張大会は、上川地区大会に向けての選考会も兼ねて開催され、上川地区大会、全道大会、北海道・東北大会を経て、全国大会で内閣総理大臣賞ほか、各賞の受賞者が決定される。

○発表内容

次のような内容で、心からの思いや考えたこと、感銘を受けたことなど、少年らしい自由でユニークな感想を、飾り気のない言葉でまとめたものを発表内容とする。

ア 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提言など

イ 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び友だちとの関わりなど、身の回りで感じたこと

ウ テレビや新聞などで報道されている少年の問題、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

○発表時間

一人5分程度とする。

○審査基準

次の3項目について、審査員により審査を行い、各賞を決定する。

ア 論 旨

- ・鋭い感性で、新鮮な主張であるか。(中学生らしさ)
- ・新しい情報や視点があるか。
- ・個人の体験にとどまらず、一般性・社会性があるか。
- ・提案や提言を実現・実践する意欲が感じられるか。
- ・論旨が一貫し、構成がしっかりしているか。

イ 論 調

- ・主張の内容が共感と感銘を与えているか。
- ・説得力ある話し方であるか。
- ・話し振りに熱意と迫力があるか。

ウ 態 度

- ・聴衆をよく見て落ち着いて話しているか。

○令和元年度 旭川市少年の主張大会審査員（敬称略・順不同）

北海道新聞旭川支社 報道部長	佐藤 洋樹
旭川市PTA連合会 副会長	星 英樹
旭川市青少年育成部連絡協議会 会長	荒木関 栄
旭川市教育研究会国語部 部長	北川 恒
旭川市教育委員会学校教育部教育指導課 主査	忠海 盛弘